

趣味を活かし社会貢献も…

「かたくりの和」が初のパッチワーク展を開催

約1年前に結成されたパッチワーク教室「かたくりの和」（代表：小山裕子さん・大井沢）に参加して製作活動を続けてきた町内外の女性17名の方々が4月16日～29日、チエリーランドさがえさくらんば会館で同教室初となるパッチワーク展を開催しました。

会場には、母の形見として大切にしまっていた着物や、タンスにしまい忘れ眠っていた布片などを縫い合わせて製作した色とりどりの作品100点以上が展示され、松ぼっくりを使った手芸体験コーナーも設けられて、



▲色鮮やかな作品が来場者を楽しませた

家族連れなどで賑わいました。また、パッチワークの小物入れや手提げ袋などが販売され、売り上げの一部は東日本大震災の被災地へ募金されました。

雪の壁、仰ぎ見ながら…

月山雪の回廊ウォーキング

合長の今野信秋さんが、「四季折々のイベントで月山を楽しんでください」といさつ。その後、町内外から訪れた21名の参加者は、高さ11mの雪の壁や、残雪に輝く山並みの景色を楽しみました。

仙台市から友人や知人と参加した女性は、「この時期にこんなに雪が残っていることに驚きました。とても高い雪の壁には圧倒されました」と興奮気味に感想を語ってくれました。



▲高い雪の壁に興奮しながら歩く参加者

“オンリーワン”が一堂に

地域の工芸品を集め「大井沢工芸展」を開催

大井沢に住む工人の作品を展示販売する「大井沢工芸展」が4月12日～15日と19日～21日、同地区根子の民家ギャラリー麦わら&喫茶で開催されました。古民家の雰囲気が漂う店内には、「菊摩呂こけし」「月山和紙」「大井沢の土で製作された陶器」「大井沢つる細工」などが展示されたほか、地元食材で調理された「月山とんバーガー」や「大井沢手打ち丸そば」などの食事も提供されました。

町内外から訪れた方々は、丹精込めて作られた工芸品を買いやくめたり、料理に舌鼓を打ちな



▲工芸品が展示される店内でくつろぐ来場者

がら会話を楽しんだりと、思い思いに時間を過ごしていました。



△診療所として使われてきた建物で志田周子について話す丸山さん(左)と建物所有者の志田義郎さん

月山志津温泉から姥沢駐車場へ通じる県道月山志津線で4月14日、月山雪の回廊ウォーキングが開催されました。

開会式で月山志津温泉旅館組合長の今野信秋さんが、「四季折々のイベントで月山を楽しんでください」といさつ。その後、町内外から訪れた21名の参加者は、高さ11mの雪の壁や、残雪に輝く山並みの景色を楽しみながら、月山志津温泉街までの約6キロの道のりを歩きました。

仙台市から友人や知人と参加した女性は、「この時期にこんなに雪が残っていることに驚きました。とても高い雪の壁には圧倒されました」と興奮気味に感想を語ってくれました。

周子の小説が機関誌に連載

保団連事務局職員が取材のため来町

全国の10万3千人を超える医師が加入し医療の向上を目指す「全国保険医団体連合会」（東京）の事務局職員の丸山さんが4月12日、女医志田周子の取材のために大井沢を訪れました。

同連合会が月3回発行するタブロイド判の機関紙に、志田周子の生涯映画プロジェクトに携わる阿部美佳さん（脚本家で小説家・尾花沢市出身）が執筆した小説を1年間連載する予定で、その宣伝記事を掲載するにあたり、志田義郎さんなど志田周子を知る4人の方々に話を聞いたり、診療所として残る建物を巡り、診療所として残る建物を巡

つたりして、当時の生活状況や志田周子の医療に対する姿勢などを取材しました。

4月25日発行の機関紙に小説連載の宣伝記事が掲載され、5月発行の機関紙から小説の連載がスタートすることです。